放射性セシウム新基準に対応したマダラ・ヒガンフグの水揚げ自粛について

平成24年3月31日に第3回宮城県水産物放射能対策連絡会議を開催し、4月1日から基準値を超える水産物を市場に流通させないため、下記のとおり一部海域においてマダラ・ヒガンフグの水揚げを自粛することを決定しましたので、お知らせします。

記

1 マダラの水揚げ自粛について
① 対象海域  金華山以北沖合海域の水深150m以浅の海域
     （別添図面の⑤の150m以浅海域）
② 対象銘柄  概ね1kg以上のマダラ（通称マダラ）
③ 水揚自粛開始日  平成24年4月1日
④ 水揚げの自粛とその海域を決定した理由
・3月19日に金華山以北沖合海域の水深140m水深で漁獲されたマダラから128ベクレル/Kgの値が検出されたこと。
・これまでの検査結果で1kg以下のマダラ（通称ポンダラ、ピンダラ）からは50ベクレル/Kgを超える値が検出されていないこと。

2 ヒガンフグの水揚げ自粛について
① 対象海域  仙台湾南部海域
     （別添図面の④）
② 水揚自粛開始日  平成24年4月1日
③ 水揚げの自粛とその海域を決定した理由
・3月27日に仙台湾南部海域の浅海部で漁獲されたヒガンフグから96ベクレル/Kgの値が検出されたこと。

3 その他の対応
自粛海域及び隣接海域においてマダラ、ヒガンフグの検査を強化する。
宮城県の放射能検査海域の区分その1（海洋水産物）

① 沿岸北部海域（貝類含む） 15検体／週
② 沿岸中部海域（貝類含む） 15検体／週
③ 仙台湾北部海域（貝類含む） 15検体／週
④ 仙台湾南部海域（貝類含む） 15検体／週
⑤ 金華山以北沖合海域 15検体／週
⑥ 金華山以南沖合海域 15検体／週
⑦ 太平洋沖合海域 5検体／週

計7海域 95検体／週